

ざっくばらん 新春座談会

図11 日本の貸借対照表-財政は豊富にある

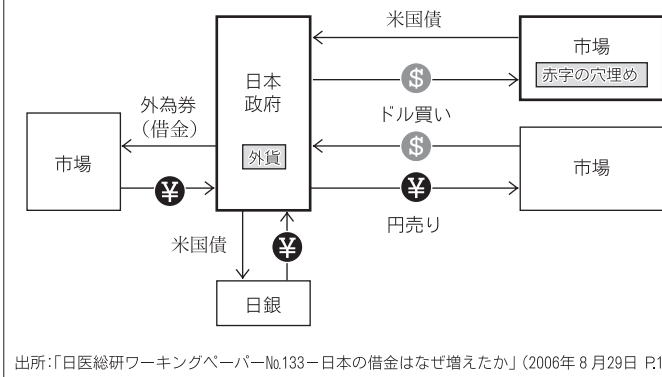
①一般会計	資産 662.4兆円-負債 458.2兆円=正味財産 204.2兆円
②特別会計	財政融資資金等 348.4兆円+外国為替 94.7兆円-交付税等債務 55.5兆円 =貸借対照表以外の正味財産 412.9兆円
①+②	=正味財産 617.1兆円



小山栄三相談役

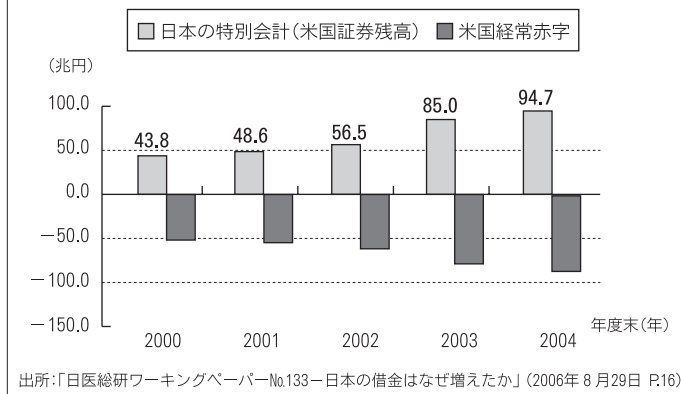
70年代に歯科の差額徴収が社会問題となり、歯科医療改善の運動が展開された。設立して間もない協会は、その先頭に立って活動しました。

図13 日本の借金と米国との関係



出所:「日医総研ワーキングペーパーNo.133-日本の借金はなぜ増えたか」(2006年8月29日 P.17)

図12 外貨証券残高と米国の経常収支



出所:「日医総研ワーキングペーパーNo.133-日本の借金はなぜ増えたか」(2006年8月29日 P.16)

日本の米国債保有残高の特別会計は、米国の経常赤字額の推移と一致している

に、600兆円は官僚と政治家と財界の食いもの部分ですから、離したくない打ち出の小槌です。一般会計では、1年間に使うお金は1年間の税金で成り立っています。残りの部分は国債に返すとか言いますが、本当はその部分も入れても年間でマイナス1兆円ほどです。仕方ないので14兆円は国債を出して補填したらしいのですが、今年の国債発行高は30兆円です。では、残りの16兆円は国と地方を全部含めた公共事業費に流れていき

政府が出しているお金の倍以上あります。ここは絶対に削らない聖域です。竹中平蔵氏が「山の民と海の国の民」と言いましたが、海の国の民はトヨタです。要するに海外に進出しています。山の民はゼネコンです。両方ともうまく立ててやるというのです。平野の民は下々で大打撃を受けます。これを定着させるのが構造改革です。両方とも欲しいので、福祉や医療、教育などいろいろな分野で市場開放の波が押し寄せてきています。富本 政府は医療に22兆円を払っているという宣

伝えています。しかし、国民は22兆円しか使っていないと怒るべきです。必要なものは自分の税金だからもっと払えと言わなければなりません。小澤 その点で日本医師会は、「健康と医療は国の安全保障だ。平時の安全保障の根幹だ。」と言っています。政府はそれに対して全く責任を持ちません。しかし、アメ

V これからの医院経営

もう一步患者の立場に歩み寄って考える

小澤 皆さんに聞きたいのは、地域の医療が崩壊しないために、1千万円から3千万円の年収の先生方(開業医の半数)が、誇りと生活の安心を持ってそれぞれの患者さんに立ち向かうためには、今どうやって経営を守らなければならないのかというノウハウです。私費が良いとか悪いとか、今は論じるべきではないと思います。混合診療とは別のものではないので、自費の良いところ、悪いところ、勧めたいところ、できたらこうしたいところ、自費治療から保険の患者さんが増えたという点で医院の経営努力をリアルに聞かせてもらえますか。富本 患者さんに喜んでもらいたいの、今の治療法でメタルボンドか、保険でできる範囲内かという点を患者さんに聞いています。患者さんがインプラントをしてほし

リカが協力せよと言ったら有事の安全保障にはお金を出すのです。だから、今回の医療費削減された部分は、アメリカ軍のゲーム移転費用とぴったり金額的に合います。イラクの時も、診療報酬改定で下がった分がイラクにいった金額と大体合います。要するに、「あるのか、ないのか」という話も大

事なのですが、「お金をどう使うのか」という、ただそれだけの話です。片方にたくさん使えば、片方はなくなります。だから、財源というのはみんなの声です。一人ひとりの国民が心も体も健康で豊かになる方法で使うか、大企業のために使うのか。誰から取って、誰のために使うのかを考えたほうがいいのです。

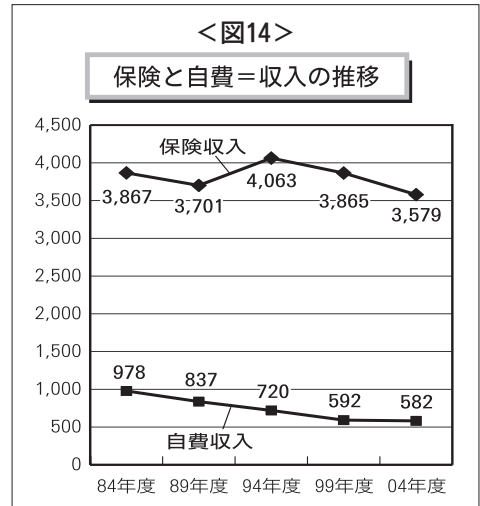
歯科医は地域に生き、地域に生かされている

小澤 患者さんと一生つき合っていく、患者さんと町で会ったときに、お互いに笑って挨拶できることが大事だと思います。どんな名医であっても、やぶ医者であっても、その地域からは逃れられないので、そこで一生食わせてもらうわけです。自分に誇りを持って、地域に誇りを持って、地域に愛されたい、地域に愛されるだけ出て行きたいと思っていま

方もありますよ」と提示すると、患者さんが自費でやってほしいと希望して、自費が増えていく。困り込みという形になってしまいかもしれませんが、一生付き合い合える患者さんという考えです。いろいろな情報も発信できる、患者さんに応じた医療内容を提供する努力を普段からしておくことが大切です。経営の話で言えば、収入の低い歯科医院で患者さんは喜んで来ているのか、もう一步患者さんの立場に歩み寄ることができるかを考えながらやっていく。

富本 私は、自費治療をできるだけ保険に導入するように学会や厚労省、政府に国民と一緒に働きかける取組みが大切だと思つた。私の経営は保険をメインに考えています。富本 収入が減ったと言いましたが、その中でも特に自費が減っています。20年前は978万円ありましたが、04年度は582万円です(図14)。だから、自費治療をしたくないと思つても、患者さんにそ

れを受け入れる素地が少なくなっていることを、まず押さえておかないといけません。レーザーを買えばはやくと考えていることがありません。安易にインプラント治療を導入して事故を起こしてしまいます。しっかりとした研修を受けた上で取り組まないで、患者さんが迷惑することがあるのです。富本 技術を含めて患者さんのニーズに応えられるように、歯科医師としての研鑽努力をしないと患者さんの信頼が得られません。患者さんの信頼を得られることが、経営の安定の第一歩であるという話が見えませんかからありました。



後は、地域の患者さんと誇りを持って付き合っていくような仕事をしていくことが重要です。患者さんと付き合うのは、診療だけではなく、医療全体のことをわかれわかれ患者さんに対して訴えていくことが重要で、国民と一緒に声を上げていくことが、現状を変えていく第一歩になっていくのではないかと感じました。ごつもお疲れさまでした。(拍手)

大多数の歯科医の願いを実現する道

富本 私は、自費治療をできるだけ保険に導入するように学会や厚労省、政府に国民と一緒に働きかける取組みが大切だと思つた。私の経営は保険をメインに考えています。富本 収入が減ったと言いましたが、その中でも特に自費が減っています。20年前は978万円ありましたが、04年度は582万円です(図14)。だから、自費治療をしたくないと思つても、患者さんにそ